

JHRCA

日本ホテルレストランコンサルタント協会 関西支部

5月例会報告

2008年5月28日

JHRCA正会員：ゲスト会員各位

1. 5月例会報告

5月の講師は高月支部長ご紹介により、阪急グループのホテル一筋に勤められました(株)阪急阪神ホテルズの取締役相談役 河田一彦様から、現在の巨大な阪急阪神第一ホテルグループに統合された経緯について「阪急阪神第一ホテルグループの事業再編と経営戦略」と題し種々の説明をいただきました。要旨は以下のとおりです。

1) 阪急阪神東宝グループの概要(322社7団体、売上約1兆9,300億円)

阪急阪神ホールディングスグループ

(196社6団体、約26,000人、売上約1兆3,200億円)

エイチ・ツー・オー(H2O)リテイリング

(47社、約5,400人、売上約4,500億円)

東宝グループ

(98社、約5,000人、売上約2,700億円)

2) 阪急阪神第一ホテルグループ(45ホテル)の沿革と再編の流れ

旧阪急電鉄系(宝塚ホテル、阪急インターナショナルほか6ホテル)

旧第一ホテル系(第一ホテル東京4ホテルほか4ホテル)

旧新阪急ホテル系(新阪急ホテルほか6ホテル)

旧阪神電鉄系(リッツカールトン大阪)

その他(各地にフランチャイズチェーンホテル 22ホテル)

以上のホテルが7つのステップ(2000、2002、2004年、2008年)

子会社化、株式交換、合併等により現在の45ホテルに統合された。

3) 阪急阪神第一ホテルグループ(45ホテル、8,673室)の内訳

直営22ホテル(首都圏 7、近畿圏 9、地方 6)4,387室

フランチャイズ23ホテル(青森、山形、富山、東京、名古屋、近畿、中四国、
沖縄)4,186室

4) 合併のメリットおよび効果

ビジョン、目標の共有化 経営資源の一元化(資金、人材、施設)

チェーンホテルオペレーターとしての営業強化

ホテル運営体制の効率化

5) 組織

グループホテル事業本部 首都圏事業本部 近畿圏事業本部
経営統括本部

6) 中期事業方針

チェーンオペレーターとしての体制整備 MC・FC 拠点の展開
集中と選択による事業構造の改善(神戸三田、呉阪急)
人材の創出(総支配人育成、新人事制度の導入)
適正投資による商品力の維持向上
フード開発体制の見直し

7) 阪急阪神第一ホテルグループ(45ホテル、8,673室)の業績

売上 直営468億、子会社等240億 合計708億 (前年比 2.5億)
利益 営業利益 1,521百万円

売上、利益とも新阪急ホテルが過半数を占める。

2. その他の報告

- 1) 当会発足以来長年にわたり正会員としてご活躍いただきました東條 伸一さんが、一身上の都合により4月末日をもって退会されました。これまでのご協力に感謝し、ますますのご発展をお祈りしたいと存じます。
- 2) 今秋の海外視察旅行は、昨年と同様にゲスト会員の清水民夫さんのご子息で、近畿日本ツーリストに勤務されている清水邦彦さんをお願いして、マカオ、香港3泊4日を10月または11月に実施する計画で検討中です。この件は関東支部とも意見交換しつつ進めます。決まり次第お知らせいたしますので、皆さまのご参加をお待ちいたします。
- 3) 7月の納涼例会は今年もゲスト会員のアサヒビール新美様のご配慮で、大阪城公園内の松下 IMP ビル内アサヒビール「パノラマレストラン」の個室をお借りして、7月29日18:00より行います。パーティ開始前45分間を情報交換会にしたいと存じますので、ゲスト会員を含め情報提供または卓話をしていただける方はコミュニケーション担当の清水 雄一郎理事までご連絡ください。

以上 JHRC A関西支部事務局 山田 寛